

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 2/6、3/6、5/7. 5/25 夜

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 当日出席可能な職員/全職員

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	なし
前回の改善計画に対する取組み結果	なし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	4			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	5			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	6			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	12				12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○利用開始前にミーティングをすることは定着していて、情報の共有ができています。</p> <p>○本人がまだ慣れてない時期には、様子を見ながら声掛けしたり、何か気になっていないか・不安でないかなどと気を配るようにしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○会議・ミーティングに欠席すると、情報への理解が浅くなる</p> <p>○変わりゆく状況の変化についていけない事がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○会議・ミーティング欠席者には後日必ず「会議録」に目を通してもらい、全員に情報が届くようにする。また、抜け落ちてしまうこともあり得るので、繰り返し共有することも必要。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	人	人	人

前回の改善計画	ふだんから外出などはしている。それが本音に基づくニーズかどうかを念頭に置きつつ、身近なところから (本音を求めて) 取組んでいく。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	実現できるように頑張っている
------------------	----------------

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	8		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	6		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	4	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	11	4			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 関わりの多い利用者とは、意識した会話などで要望・ニーズ、ゴールなど聞き出している。従って、目標設定や課題解決に向けて動きが早い。臨機応変な対処もできている
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 接する事の少ない利用者・何を考えているかがわかりにくい利用者の要望・本音を引き出すのは難しい。また、本音はもともと出にくいし、本人が揺れている場合もある。家族の要望が強いため、本人よりそちらを優先してしまったりすることも要因だろう。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ○職員の側に、時間的人的余裕・1人1人心の余裕をもつ勤務体制をつくる。 ○職員が、研修や他者からの学び等でコミュニケーション能力を高めていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	人	人	人	人

前回の改善計画 ケアの中での会話から得た情報は記録に残し、他の職員にもわかるようにして共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果 できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	11	3			14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	14	1			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	10			13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	12	3			15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	13	2			15

できている点 ○連絡会議や各ミーティングなどで情報の共有ができるように工夫している。
○ご本人の体調変化や気持ちの変化などは、朝のバイタルや迎えの時の様子などで気になる事や配慮しなくてはいけない事を、連絡ノートに記入したり口頭で伝えて共有できるようにしている。○利用者1人1人に応じた食事メニューや入浴・外出なども希望を聞きながら実行している。

できていない点 ○現在の様子に目が行ってしまい、「以前の暮らし」についてまではなかなか把握しきれていない。○生活状況表の記録に、聞き取った内容や心情まで記入できていない。「…した」「…へ行った」の記録になっている。○介護職員担当者会議もなかなかできないので、意識的に時間を作ることが必要だと思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
介護担当職員のミーティングを、ケア会議の際時間をとってやりきるようにする。また、特に問題がなければ、サービス担当者会議時でも良い。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	人	人	人

前回の改善計画 家族を交えての担当者会議時に、地域との関係を聞き出すなど、
いろんな場面で、引き続き地域との関係をつくる努力をする。

前回の改善計画に対する取組み結果 なんとかできている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		15			15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	7	8			15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		15			15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6	5	4		15

できている点 ○利用者1人1人の生活スタイルに近づけようと意見を出し合い、できている気がする。○篠原周辺の利用者も増え、お互いの関係性も絡んでいい状況ができていると思う。○地域での生活を支えるために必要に応じて、民生委員・商店の方・近所の方とも連絡をとり協力していただいている。／事業所だけではなく地域の支援も得られて、十分な支援ができていると思う。

できていない点 ○篠原周辺の方々については把握・支援できているが、地域外の方や引っ越しして来た方々に関しては、情報も少なくわからない事が多い。また、担当になった利用者も含めて、家族と話をする機会が少ない。特に独居の方は、ご家族が遠方にいたりするので、直接話をする機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
個々の職員が、積極的に本人・家族・地域をつなげていく。送迎時など本人・家族と話をするいい機会なので、会話し情報を記録に残していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	4人	人	人	人

前回の改善計画 介護担当職員によるアセスメントをしっかりと行って、本人のニーズを把握し共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果 完ぺきではないが、少しずつ把握できるようになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	1			1 1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	2			1 1
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	2			1 1
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	2			1 1

できている点 地域の方達からも情報を頂きながら、毎朝のミーティングで利用者の変化・その日の天候などに応じて対応し、月2回の会議でも話し合ったりして情報を上手に共有できている。

できていない点 早朝・夜間・泊り対応などは、人的・時間的に無理な場合が見られ、柔軟に支援しているとはいええない。また、介護職員担当者会議も成立しないことが多い。

次回までの具体的な改善計画 介護職員担当者会議で利用者・家族の情報を整理する。また、人的・時間的なことを含め勤務体制を改善し、提供できるサービスを再考しながら支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	2人	人	人	人

前回の改善計画 ○外部の会議：役割分担し皆で共有できるようにする。○高齢者の来所⇒*主催イベントへの積極的参加を呼び掛ける*利用者との会話の中で、近隣に困難を抱えている人の情報を得る。○地域のイベント等を通し、防災訓練参加の呼びかけもしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果 比較的「できた」と思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1 1				1 1
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1 1				1 1
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1 1				1 1
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1 0	1			1 1

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の行事には積極的に参加している。また、事業所のイベントには登録者以外の高齢者はじめ子供たちも参加する。中高生の職業体験などにも利用されている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の各種団体の活動やイベントが夜間や土日祝祭日が多く、参加できる職員に偏りがみられる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域の各種機関・団体との連携は大切なことであり、できるだけ多くの職員が参加できるよう勤務体制を工夫していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	5人	人	人	人

前回の改善計画 ○地域はとは、長い時間をかけて信頼関係を作る。引き続き発信能力を高める努力をする。③—職員が地域のことを考える敏感なアンテナを持つ④—「みどり北をつなぐ会」等、もっと参加していく。また、地域の行事などにも参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果 ④以外は、徐々に功を奏しているのでは。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	8	3			11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9	2			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	1		11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	8	3			11

できている点 ②—家族等からの突然の苦情に対しても、ケアマネや担当職員との協働作業の下、柔軟で素早い対応をしている。③④—諸地域イベントへ参加、事業所の地域用イベントの開催、地元利用者を通しての地域との関わり、自治会との協力関係など地域に根付いてきている。

できていない点 ②—良かれと思った対応が裏目に出たりする。感情的なものや病気の症状に基づく意見・苦情もある。③—地域からの意見はあまり聞こえない。噂話はあるが。④—篠原の里ミーティングや運営推進会議で関係を作っている段階か?/地元雇用職員が地域活動に関わっても住民としてカウントされる。事業所としての参加だと欠席が多くなるのだが。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域と協働した取り組みは、これまで通り続けていく。その中—例えば「篠原の里」ミーティングや運営推進会議という回路を通して、噂話でなく顕在的なニーズとして掘り起し、すずかけの家の運営につなげるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	人	人

前回の改善計画 ①②—研修は参加機会を増やすよう、引き続き勤務を工夫する。また、自分から積極的に参加を申し出たり、学びたい内容を研修担当職員にアピールする。④—ヒヤリハット事例と共に、リスクマネジメントに該当すると思われる事柄を積極的に会議等で検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果 外部に出ていく研修関係ができきれていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	8	1		1 1
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	5		1 1
③	地域連絡会に参加していますか	6	4	1		1 1
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	5			1 1

できている点 ①②—職場内研修は勉強になるし、情報・知識が得られる。「にっこりほっこり」と併せ、利用者の気持ちに添える雰囲気がある。／ケアマネは、さまざまな会議に参加できている。／防災訓練に利用者や地域住民が参加したことで、「交流し」「共に学ぶ」場となった。

できていない点 ①②—外部研修や資格取得関係の研修に行けてない。④—忙しくて、フロアにいられない。多分大丈夫だろうと主観的に思ってしまいが、これがヒヤリハットの下地になるのだろうか。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
外部研修—なんでもかんでもではなく、テーマを厳選していくようにする。スキルアップ研修も同様。資格取得研修がそうであるように、大切さを理解し職員相互が勤務調整し交代で行けるよう職場体制を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	人	人

前回の改善計画	○利用者の地域性や相互の関係性から話が個人のことに触れるのはありえることであり、利用者の不利益になる事柄については職員がフォローする。○職員の書類の管理と同時に、声が筒抜けになりやすい日本家屋の特徴も踏まえたプライバシー・個人情報の取り扱いを意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	プライバシーを守るという部分が、住環境や昔からの人間関係の濃い状況では、守り切れたとはいえない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11				11
②	虐待は行われていない	8	3			11
③	プライバシーが守られている		8	3		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している					
⑤	適正な個人情報の管理ができている		11			11

できている点 ①②—できている／あることが考えられない。本人のハート体調を考えたケアができている。③—利用者がいるときは連絡事項を事務所でしたりと狭い空間を意識。親しき仲の礼儀・噂話の微妙な聴き方、やんわり話題を変える等上手な人の真似をしている。

できていない点 ①②—「言葉がきつい (⇒言葉の暴力)」とか「人格否定」ととられかねない時がある。親しさの現れという面もあるが、どうしても感情的になってしまったりする
③—個人情報を守る努力をしているつもりでも、話の内容が利用者にもれていることがある。／個人の洗濯物が他人の目にふれたり職員側に配慮が欠けてる部分もある
④—必要性はわかっているが、該当するケースが無いため評価できず。ただ、必要なのかどうかを見極める基準がない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所全体が「その人に寄り添っていくのはどういうことか」という原点に立ち返れるよう、会議・ミーティングで確認していく。また、「人格否定」ととられかねない言葉や振る舞いを、職員相互が自覚していく日常をつくる。	